

は
じ
ま
り
の、



き
っ
か
け



LIBRA SCHOOL OF AROMATHERAPY

ライブラ香りの学校

昔むかし・・・

ではなくて、これは現在の話。

なにかをはじめるきっかけを手にした、
女の子のお話です。

ある日、女の子は公園に出かけました

ベンチに座って空を眺めていると

鳥が声をかけてきました

「どうしたんだい？」

右の道に進んだら

おいしいそうなパン屋さんがあるし

左の道に進んだら

美しい歌声がきこえてくるよ」

女の子はこう答えました

「もしかしたらパン屋さんには

わたしの好きなジャムパンがないかもしれないし

歌声の先は行き止まりかもしれない

それにわたしの進みたい場所は

まだみつからないの

わたしはまだ全然外の世界を知らないんだ」





不安そうな女の子のことばを聞いて
鳥は少しの間考えてこういいました

「そしたらほか」

今までに見てきた話をするよ

気になるところがあれば

そこに行ってみたらいいんだ」

女の子は眼を輝かせて

「その話を聴かせて

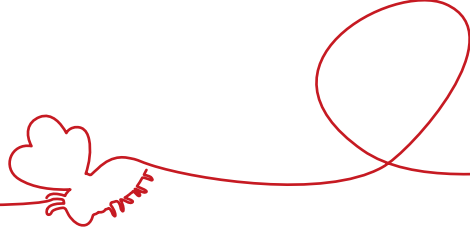
すごく興味がある」

女の子にせかされるように

鳥は語りはじめました



物語の、はじまりはじまり。



ぼくが最初に訪れたのは
恋する女の子の街

そこは

ローズやイランイラン

ネロリやジャスミンの香りが

満ちあふれている

バスタイムには

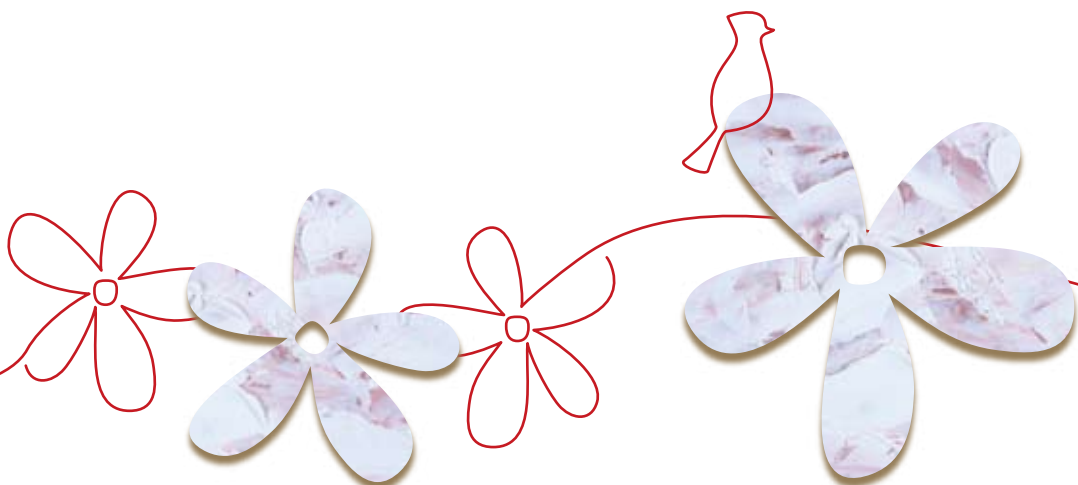
女の子たちは

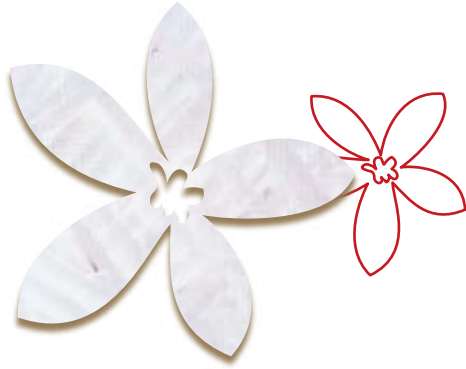
ハチミツとジャスミンを

混ぜたお湯につかり

明日の恋が成就することを願って

ゆっくりと恋の準備をしている





また、ヨーロッパでは

愛が続くことを願って

新婦の髪飾りに

オレンジの花が使われてきたそう

この街の女の子は

その花からとれるネロリの香りを

オーデコロンに加えて

魅力的な自分をアピールしているんだ

「香りが恋を届けるのね

すごくロマンチックだわ

この街の人はきっと

みんなすばらしい笑顔をしているんだわ

だって、恋をするときって

すごく前向きな顔をしているもの」

この街の住人は、どんな人たちだろう。
3名の方を、ご紹介します。



story 1

丸井 ゆか

Marui Yuka

AEA J 認定アロマセラピスト。

2005年 アロマテラピーサロンにてアロマセラピストとして勤務。

2008年 大阪に引っ越しし、ライブラナチュレラピー(株)に入社。

2009年 4月にオープンしたライブラナチュレラピーヒルトンプラザ店にて販売をしている。常にお客様にとってどんなものが必要か、お客様の生活を楽しくできる香りをご提案しています。





人とわたしをつないでくれた、アロマ。 あたらしい世界が、まいにち訪れています。

アロマセラピスト課程修了 まるい ゆか



アロマの勉強を始めたのは、5年前。友人がアロマセラピーの講座に参加しており、その話を聞いて興味をもったことがアロマとの出会いでした。それまでは、「アロマセラピー」ということばも知らないぐらい、アロマに対して無知でした。アロマセラピーは香りで癒されるだけではなく、心に作用したり、美容やダイエットにも効果があるんだよと、そのとき友人は教えてくれました。その話がわたしの好奇心をくすぐったのが、アロマを習おうと思ったきっかけです。学校を探すときに重視した点は、有名であること、歴史があること、そして授業料がなるべくリーズナブルなところでした。正直、多くの東京のスクールの料金は、高いなあと感じていました。ライブラは、歴史があり、全国的に拠点があるアロマの専門学校。なる

べく安く、みっちりアロマを勉強したい私にとっては、ぴったりの学校でした。

友人の話を聞いたとき、将来はアロマセラピーを仕事にしたいと思っていました。そのためにまずは、資格をとることが最初の目標でした。授業は10名ほどの少人数のクラス。授業の前後に会話をしたり、実技でお互いをトリートメントし合っているうちに、とても打ち解けた雰囲気になりました。やっぱ、同じ目標に向かっている仲間というものは、気が合うものです。授業後、仲間と渋谷の街でお茶したり、ブラブラとショッピングしたりすることもよくありました。大変なときもありましたが、信頼できる仲間を支えられて、無事卒業できたと思います。

卒業後は、両親の転勤を機に、大阪へ戻ってきました。そんなとき、ちょうどタイミングよく、ライブラ香りの学校の求人があったので入社することができました。今では、アロマに興味があつてやってこられる生徒さんとの交流や、ショップにアロマを生活に取り入れたいとやってこられるお客さんとの会話。そんな日々がとても楽しく、充実した毎日を過ごしています。アロマは学校で、仲間との輪を広げてくれた。仕事にしてからは、たくさんの人との刺激を与えてくれた。たくさんの人との繋がりをつくってくれた、アロマと出会えて本当によかったと思っています。これからも刺激を楽しみながら、日々の成長を感じて生きていきたいですね。





story 2



白岩 訓子
Shirowiwa Kuniko

1970年、大阪市生まれ。2004年より東京都目黒区在住。
趣味は読書とハワイアン・フラ
Me Mana Kea (メマナケア)
HP : http://blog.goo.ne.jp/shirow_333
E-mail: kuni-white@mqb.biglobe.ne.jp



なによりも大切なことは、自分のこころ。
身体は、わたしに正直です。

アロマセラピスト課程修了 しろうわ くにこ



ある日突然のことでした。「アロマセラピーを勉強してみよう」って頭の中で閃きました。そう思った2・3日後に電車の中で偶然、AEAの検定ポスターと遭遇。「やっぱりこれはアロマを始めろってことなんやわ」と、漠然とした思いつきが、具体的なスクール探しへと変わっていきました。始めようと思ったのが思いつきなら、スクール選びも思いつき。今まで渋谷には何度も電車で行っているのに、スクールを探そうと決めた途端に、ライブラの看板を発見しました。不思議ですよね。何で今まで気がつかなかったのでしょうか。その偶然にかけてみようと思い、説明会に参加しました。スクールの雰囲気や実際にかかる総費用などを確認して、即決で入校しました。わたらしいなあと思います。

もともとわたしは、自分で自分のバランスを取り戻すためのお手伝いをする、リコネクティブ・ヒーリング®のサロンを始めていました。ですので、インストラクターの資格を取って、アロマセラピストになり、ボディートリートメントをサロンのメニューに取り入れる。思いつきではじめた割には、最初から目標が具体的だったので、授業にも自然と身が入りました。講師の方々はそれぞれに个性的で、アロマセラピーに関してはもちろんのこと、それ以外の自然療法やスピリチュアルなことにしても詳しくあったのが印象に残って



います。いつも真摯に生徒と向き合い、一人ひとりの個性に合わせた授業をしてくれました。心と頭が柔軟であることが大事。講師の方々それぞれの姿勢が、そのことを物語っていました。サロンを運営していくために、まずはモニターの募集からはじめて、友人の口コミとHP代わりのブログを運営したりと、地道な作業からはじめました。自宅のスペースを考えて、その中で必要な備品をすべてそろえて、お客さまが居心地のよいように空間を工夫する。たとえば、タオル1枚決めることにも、自分の感性と経済力が大事になってくるんですね。それは、日々新鮮なできごとが訪れるということ。楽しくもあり、相手の立場から考えるという難しさが同時に起こります。「いまでできることの最善をつくす」。シンプルですが、大きな壁にぶつかったとき、いつもそのことばを思い出して、進んできたので今があるのでしょうね。これらの考えかたは、全てライブラで習ったことです。

いまわたしには大きな夢があります。それはライブラで同級生だった仲間と、何かイベントができればなあと思っています。いまは漠然としています、そのうち具体的にになっていくのでしょうね。香りの奥深さを知っただけではなく、一生つきあっていける仲間とも出会えた。いい出会いを、ありがとうございます。





アロマを勉強すればするほど、 家族との絆は深くなっていきました。

IFA 国際アロマセラピスト課程修了 おがた まい

わたしはもともと看護師でした。アロマと出会ったきっかけは、先輩からのひとこと。夜勤中に、「アロマはいいよ。やってみなさい。」と半ば強制的に勧められたことが、はじまりでした。少し戸惑いながらも、勉強しようと思ったのですが、スクールは怖いというイメージが最初ありました。自分の中で、塾のようなイメージを抱いていました。だから最初に門をたたいたときは、ドキドキして不安な気持ちが大きかったです。でも実際通ってみて、その不安は杞憂に終わりました。看護学校から、いまの職場に至るまで、わたしの周りは看護師だけのコミュニティしかありませんでした。ライブラに通うことで普通では知りあえない、外のコミュニティをつくることができました。アロマを通じて、世界を広げることができましたね。STEP4までになると、クラス

全体がひとつに団結。難しい理論の勉強や、トリートメントの練習で絆が深まりました。トリートメントという同じ目的を持ちながら、これから長く付き合っていける仲間を見つけたことは、とても幸せでした。わたしは主婦でもありましたが、スクールに通う上で家族の支えが不可欠でした。子供の保育所のお迎えや、熱を出したときは、祖母や家族に協力してもらっていました。勉強は夜、子供が寝てからしかできませんでした。家事と仕事とスクールの両立。とても大変で、くじけそうなときもありましたが、家族のほうがかっと大変だったと思います。理解をしめてくれた家族との間で、深まっていった絆。感謝してもしきれないほど、ありがたいものでした。IFAの勉強中、同じクラスにサロン経営者の方が二人いました。



お話を聞いたり、サロンにお邪魔することで、自分もサロンを持ちたいなあと思うようになりました。今は看護師の仕事のない日にオープンする自宅サロンを計画中です。それまでは、公民館や、友人のサロンを借りて講習会をしながら、腕を磨いていきたいと思っています。サロンを開業することになれば、また家族に迷惑をかけてしまうかもしれません。でも、大丈夫。アロマがつかけてくれた絆は、もっと強くなっています。これからも、ずっと。アロマを楽しむながら、生きていく。生活に喜びをみつけながら、過ごしていく。そんな人生をおくりたいといま思っています。



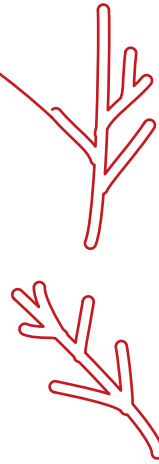


緒方 真衣
Ogata Mai

I F A 認定アロマセラピスト。
看護師の資格を取得し、小児科で7年間勤務。
その後、ライブラに通いI F Aを取得。
現在は耳鼻科クリニックで働きながら、
ホームサロン『come soi mere』の準備中。



次にほくが訪れたのは
がんばるひとの街



そこはレモンやローズマリー

サイプレスやジンジャーの

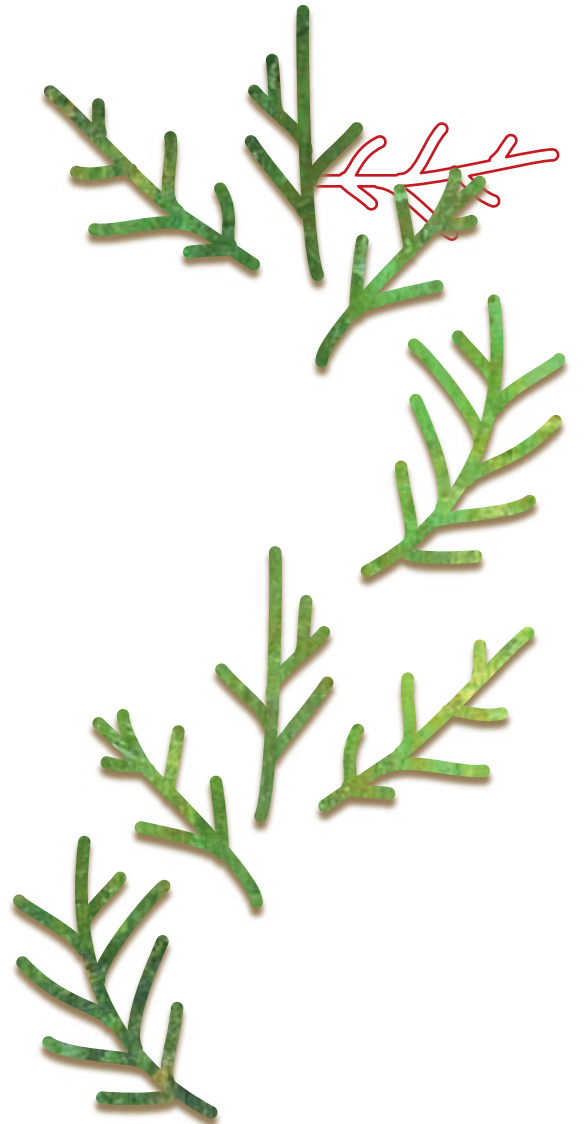
香りがただよっている

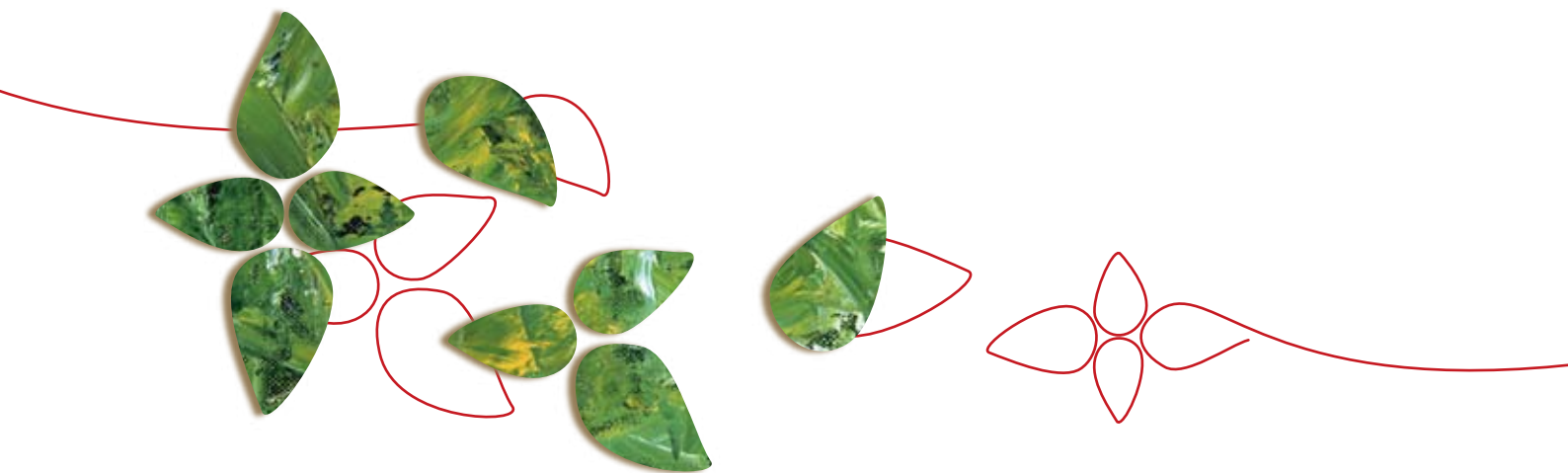
すっきりした気分になれる街なんだ

がんばるときに襲ってくる

眠気や疲れ

それに打ち勝つためにこの街の人は
アロマの香りを使っている





すーっとするローズマリーを

ハンカチにつけて携帯したり

バジルとレモンの香りを混ぜた香りを焚いて

夜中だけでなく

朝からもうすがすがしい気持ちで

みんな過ごすることができるんだ

そしてこの街は

居眠り運転も少なく

みんなが安全に暮らしているんだよ

「いつでもすがすがしい気持ちでいられるのね

きっとこの街のひとたちは

きもちが前向きなんだわ

がんばろうって思うときって

こころが元気だもん」



この街の住人は、どんな人たちだろう。

3名の方を、ご紹介します。

誰かのためにがんばることで、
わたしの目標が見つかった。



IFA 国際アロマセラピスト課程修了 いしい さとこ

30 年ぐらい前は、女性は家族の団らんをつくること。

そういった癒しの象徴である姿が、家族からも社会からも望まれていました。

ただ現在では、仕事や家事、育児などに追われるとても忙しい状況に変わってきました。

家族のことを考えながら、仕事も男性と同じようにこなさないとならない。

そういった状況で、ストレスを抱え、疲れている女性が増えてきました。

頑張る女性の手助けをしたい。そんな思いから癒しの勉強をしようと思いました。

大学を卒業したのち、頭髪化粧品メーカーにインストラクターとして入社。まいにち、たくさん美容室に行き、商品を案内すること。それが私の仕事でした。美容室で、髪形をかえるだけでなく、気分を変えたいと思ってくるとこ

ろ。そこでシャンプーやトリートメントの香りにお客さまがとても喜んでくれる顔を、何度もみました。

「いい香りって人の心を元気にして、笑顔が作れるんだ。」そして自分も香りで元気になっていったことに気づいたんですね。

香りの勉強をしようとして、ライブラを選んでのは、通学ベースが自分にあっていたこと。全国にあるアロマの学校だったのも安心しました。そして何よりもセラピストになるまでのコースが段階を踏んでできることだったのが大きかった。だって、卒業時には、セラピストとしての目標に近づくわけですね。

通ってみて、生徒同士の仲のよさにびっくり。クニニカルセラピストコースの講義はとてもハードだから、ひとりだとくじけていたかもしれない。けれど、課題やテストの時、一緒に勉強したり、励ま

しあったり、ときどき愚痴も聞いてもらったり。そんな濃密な時間を過ごせたおかげで、無事に卒業できました。今でもそのときがんばったことを思い出すと、励まされることがあります。

いまは東京、練馬区の閑静な住宅街に、アロマトリートメントサロンをオープンさせることに成功しました。ようやく夢のスタートです。これからもっとがんばらないといけません。でも、考えるだけでワクワクしますね。

アロマって、ほんとうにだれでもはじめることができます。ほんとうに手軽な方法からでも。ショッブで買ってきたボトルを部屋で焚くこともいいですね。香りどころがほぐれたら、きっと笑顔になっているはずですよ。





石井 智子
Ishii Satoko

I F A 認定アロマセラピスト。A E A J 認定アロマセラピーインストラクター。
大学卒業後、化粧品メーカーに6年勤務。
その後アロマサロン『草流 ensecret(そうりゅう・アンスクレ)』をオープン。
サロンワークに立つ傍ら、アロマ講習会講師、アロマプロダクツ開発、雑誌等
への連載、クリニックや美容室へのアロマ空間デザイン等を行っている。



主婦であり、セラピストであること。
アロマで命を救える世界をつくりたいと思う。

IFA国際アロマセラピスト課程修了 にしかわけいこ

アロマセラピーとの出会いは、15 年ぐらい前のイギリス。ふらっと訪れたお店で勧められて、いい香りだなあと思ったことがきっかけでした。帰国後仕事が忙しく、心身ともに疲れていた時期があって、そんなとき、ふとイギリスで購入したアロマボトルを思い出したんですね。そこには、スイートアーモンドオイル、マンダリン、ラベンダー、イランイランの精油がありました。その香りでところが穏やかになり、疲れがとれました。昔から今もアロマって変わらないんだなあと感動し、本格的に学びはじめるようになりました。当時わたしは、小学生の子供が 2 人いる主婦。夕方や週末のコースには参加できないので、スクール選びがとても大変でした。ところがライブラは 1 つのコースでいろいろな曜日・時間帯の設定があったのでとても助かりました。結局、平日のお昼に通うことができましたね。また最初から、やるからには IFA のコースまで行きたいと決めていたので、ステップアップ方式で進めていけるシステムが、とてもありがたかったです。家事と目標を両立するのに、ストレスがあればなかなか難しいですから。自分のペースで続けられたから、きちんと最後まで受講できたのだと思います。年齢や職業がさまざまな生徒同士。講師の方々の明るい雰囲気、場がなごみ、みんな仲良くなれました。授業もわかりやすかったし、授業外の時間もみんなで実技の勉強をしたことも、と

ても楽しかったです。修了式のととき、校長先生から「願いは叶う！」とメッセージをいただきました。その言葉はいまでもわたしの宝物です。

インストラクターの資格取得後は、育児に忙しいお母さんのためのアロマクラフト講座を、保育園で定期的に行っております。セラピストコースを受講してからは、サロンを作る計画を立てて、卒業後小さなサロンをオープンしました。不安はあったものの、ライブラで学んだ心理学やコンサルテーションの知識がとても役に立ちました。不思議なことに、「前向きで、ポジティブな気持ちでいること」を日々心がけていると、自然と仕事の話が舞い込めたり、口コミでお客様がきてくれるようになりました。「夢は叶う！」と信じて生きてきてよかったと感じています。

現在わたしは、アロマ講師やサロンでの施術のほかに、子供向けの英会話の講師、そして近所のデイサービスでお年寄りと一緒に過ごしています。そんなわたしにもまだまだ目標があり、将来臨床アロマセラピストになりたいと思っています。障害や病気をもつ子供たち、治る見込みのない病気や心の病で苦しんでいる人々、認知症や介護が必要なお年寄りの方々に、少しでもアロマの素晴らしさを伝えて救いたいと思っています。主婦だけではない、わたらしい生き方。世界を広げてくれたアロマに、本当に感謝しています。





西川 恵子

Nishikawa Keiko

英国ロンドンの旅行会社に長期勤務したのち帰国。その後、福岡の住宅街に、地域の人々が気軽に立ち寄って疲れを癒せるセラピールームを開設。また各種学校での講座や、育児に忙しい主婦の為の出張アロマ講座も行う。

『アロマセラピーハウス Kew Gardens』代表、『NPO子育て支援みどりの家』理事

I F A認定アロマセラピスト

A E A J認定アロマセラピーインストラクター、アロマセラピスト

J A M H A認定メディカルハーブコーディネーター





story 6

story 6

森本 有希子
Morimoto Yukiko

大阪府高石市。
アロマテラピーサロン Angelcomfort 主宰。
I F A 認定アロマセラピスト。

いままでの生き方と、アロマの組み合わせで、 オリジナルのサロンができました。

IFA 国際アロマセラピスト課程修了 もりもと ゆきこ



アロマに出会うまで、幼稚園の教諭として9年間勤めていました。子供は無邪気だから、天真爛漫に育っていくといった印象があります。子供は純粋だから、嫌なことがあれば、すべて自分の中に受け入れてしまうんですね。だからストレスを溜めている子供は、とても多い。働く中で、こどものメンタルケアのために、チャイルドセラピストになろうと考えていました。そんなとき、親から「メンタルケアにはアロマテラピーが有効だよ。」と薦められたのをきっかけに、アロマを習い始めました。

とても丁寧に教えてくれました。また、クラスメイトは、試験前にモデルで練習相手になってくれたり、学科試験のアドバイスをくれたり、何より独立開業をするときに心の支えになってくれた、ほんとうにかけがえのない存在でした。とても大きな不安や孤独がわたしを包み込んでいたのを、そつと払いのけてくれたのです。その当時のことは、いまでもはっきりと覚えています。

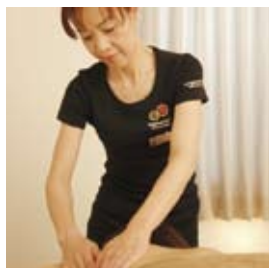
卒業後は、サロンやホテルで、セラピストとしての技術を磨くために必死。6年間、将来の夢のために努力しました。やはり長い期間やり遂げたという経験が自信になったのでしょうか。2008年2月に待望のサロンをオープンしました。

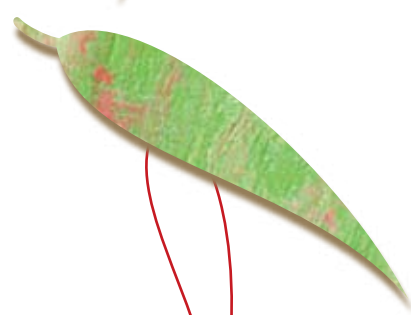
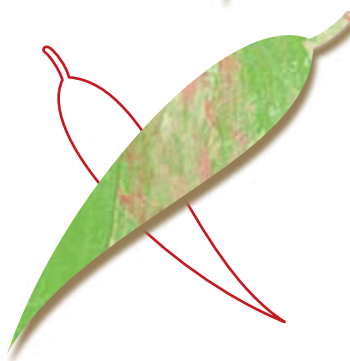
「子供がしあわせであるために」というコンセプトをもった、線路沿いにある、青い屋根のサロンで

す。1階は施術を行う、トリートメントルーム。2階には、子供がゆつくりと遊べるスペースを設けました。わたしはもともと保育士ですから、子供の世話はお手のモノ。親と子供が、くつろげる空間を作りだすことができました。このサロンは、アロマをはじめと

きの目標そのもの。大事に、これからも育んでいきたいです。

今後は、アロマテラピーが心とからだに癒しをあたえる、すばらしい代替医療であることを親子のみならず、多くのひとに伝えていきたいと思っています。目標は大きく、ぶらさなければ、どんどん近付いてくる。アロマを通じて、わたし自身も成長できてほんとうによかったです。





最後に訪れたのは
昔ながらの生活を
とても大事にする街

お年寄りを敬いながら
みんなが仲良く暮らしているんだ
よく言われるおばあちゃんの知恵袋
それらの知識をみんなが活用している

たとえば

カビの季節

ティートリーとユーカリと

レモンを混ぜたローションで

お風呂の殺菌と予防をしている

まだ

ちよつと頭痛がするときなどは

ペパーミントの香りをかいで

ゆつくり深呼吸すると

すーっという清涼感が

痛みをやわらげながら

気分をすっきりさせてくれるんだ

「わたしも おばあちゃんには

いろいろ教えてもらったなあ

あたらしいものが

私たちの周りではあふれているけど

自然のものを使っっていいなあ

身体にもいいだろうし

四季を感じながら暮らせそうだなあ」

この街の住人は、どんな人たちだろう。

2名の方を、ご紹介します。



身長：203cm !!

スポーツは、観客を楽しませる。
アロマは、選手を応援してくれる。

インストラクター課程修了 いさか さとし

以前、わたしはサントリーのバレーボールチームに所属していました。

勝つことが何よりも求められる世界。そうした中で、チームも、選手自身もパフォーマンスを向上させることに、日々努力していました。母体であるサントリーは、飲料メーカー。スポーツ飲料の発売に向けて、いろいろな試作品があり、よく試していました。その中で、出会ったのが、いい香りのする飲み物。おいしただけではなく、リラックスすることができる。香りは、パフォーマンスを上げるのに役立つのではないかと。アロマと出会ったきっかけは、こんなところにありました。

ライブラは、もつとも多くのインストラクターやセラピストを輩出しているだけあって、スタッフの対応がとてもスマート。また、ただ知識や技術を習うだけでなく、今後のアロマセラピーの可能性を考えられたのは、とてもよかった。どう発展させていけるのかは自分次第というところも、アロマが自分に合っているところ

認識できたポイントです。

いまは卒業して、リンパドレナージュ・スポーツセラピーをメインとしたサロンを経営しています。リラグゼーションに、アロマを取り入れることで、お客様がともリラックスしているのがわかります。今後はサロンでアロマのメニューを増やすだけではなく、自分がアロマを学ぼうと思った原点、スポーツ選手に向けて、アロマセラピーを展開していきたいです。パフォーマンスが向上する選手が増えて、観客がもっと楽しめるようになる。そんな世界をつくりたいです。



伊坂 哲

Isaka Satoshi

インストラクター課程修了生。
元サントリーバレーボールチーム所属。
元全日本バレーボールチーム選手。
現在グッドプランニング（株）代表取締役。

story 7

小さなハッピーを、世の中に広めていきたい。
アロマと触れ合うと、笑顔がつくられる。

アロマセラピスト課程修了 なかの りょう



わたしの仕事は、電気メーカーで商品の開発をすること。閉ざされた空間で、みんなが集中して仕事をしています。必然と雰囲気はピリピリしていて、疲れもたまります。自宅でリラックスのために、お香を焚くことがよくありました。ある日、アロマショップの前を通ったときに、お香とは違ったほんのりと香る、いいにおいが漂っていました。それがアロマとの出会いです。そのときに出会った香りは、ユーカリ・ティートゥリー、リッツアクベベの3種。ユーカリ以外は知らなかったのですが、自宅に帰り、ネットで調べました。いま思い出すと、この瞬間にアロマの虜になっていたのでしょね。後日、もう一度その店に行くと、店員さんにいろいろと質問をしました。そこで教えてもらったスクールがライブラ。実際に足を運んでみて、受付の方の快い対応を受けて、入学を決めました。丁

寧な指導だったのが、印象的です。生徒はほとんど女性で、男性がなはいませんでした。ところが、セラピスト実技のときは、男性3人だけ。きつとスクールが気をきかせてくれたのでしょうか。男性のアロマ友達がいなかったわたしにとって、このような出会いはとてもよかったです。卒業した今でも、とても仲良しです。一人で勉強するよりも、たくさんの仲間とともに勉強するのは、とても刺激があり、やる気が持続します。共通の話題がたくさんある仲間と出会うというのは、スクールに通う一番のメリットかもしれませんね。いまは自分が楽しむのももちろんですが、職場の人にもアロマを紹介して、喜んでもらっています。もつと多くの人にアロマを紹介できるように、勉強をしていきたいと思っています。



中野 亮

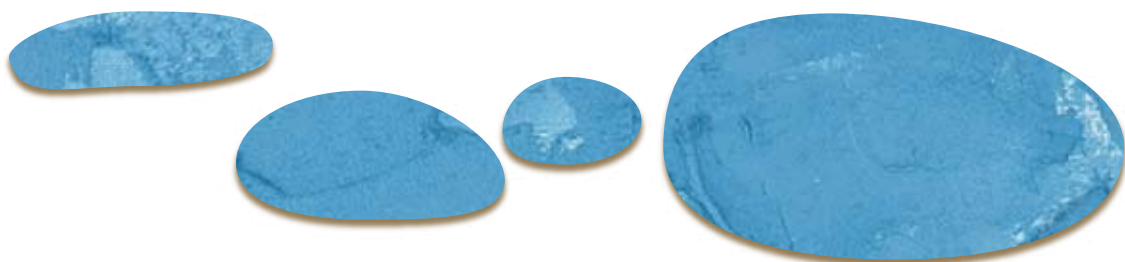
Nakano Ryo

仕事は棒電気メーカーの開発職。

2008年ライブラに入学し、AEA J インストラクターの資格を取得。2009年にはJAMHAメディカルハーブコーディネーターの資格を取得。

趣味は音楽（サックス）、バスケット。





「あぐの話は

これであしまい

行ってみたいところはあった？」

そんな鳥のことばを

女の子は少しうつつおきながら

聞いていました

そうして口をひらきました

「ありがとう

どこもとても魅力的な場所だったわ

もっと話を聞きたいって思った

わたしも自分の行きたい場所を

見つけたいとね」

そう語る女の子の顔からは

さっきまでの不安な表情は消えていました



「鳥さん

ありがとう

わたしも進んでみる

自分らしさを見つけて

私らしい道を探すわ」

笑顔でサヨナラの手を振る女の子は

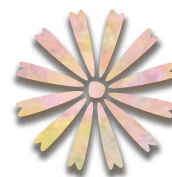
しっかりと足取りで

進んでいきました

まだ見ぬ

“自分らしさ”

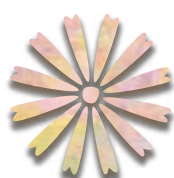
への好奇心をもって



なにかをはじめるとき、
ひとは大きな希望と、
それと同じぐらいの不安を抱きます。
そしてたくさんの、
“はじめて”が
訪れるでしょう。

不安を希望にかえていき、
たくさんの刺激的な“はじめて”を
提供できる場所でありたいと思っています。

それでは、
またお会いしましょう。



私たち一人一人はエネルギーな生命と 無限の可能性をもつ人生を与えられた かけがえのない存在です

はやし のぶみつ



私は、チリ生まれの作家、エンリケ・バリオスの「アミ・小さな宇宙人」から始まる3巻の童話を一番のお気に入りとしてみんなに勧めています。その宇宙人はいままで多くのSF作品に描かれてきたような「侵略者」ではなく、私たちを愛ある生き方に導く「伝道師」として登場します。「文明のもつ知識や技術という物質レベルの発展が、精神レベル、即ち愛のレベルを超えたとき、その文明は自滅する。」ということ伝えるために、少年ベドウィートのところへ小さな少年の姿をしたアミが現れる物語です。これに共感する私は？というと、20年以上前、アロマを始めたばかりの頃のように精油化学や解剖学などの知識が大切だと考える時期もありましたが、いまでは、自分自身の心の内側や、自分

以外の人の気持ちを感じる感性、自然治癒力を引き出す洞察力などの心の力、それを愛と呼ぶならば・・・「愛が一番大切なのだ」と考えるようになったことに驚いています。私たち一人一人はエネルギーな生命と、無限の可能性をもつ人生を与えられたかけがえのない存在です。大げさに言うならば、あなたはあなたの周りと社会、そして地球をも変えることができるかもしれないスピリットを持つ善き魔法使いの候補です。アミたちのように愛を説く先輩たち



に導かれてセラピストやヒーラーを志そうという方は、是非ライブラ香りの学校の門を叩いてみてください。

林 伸光

Hayashi Nobumitsu

1962年兵庫県生まれ。関西学院大学経済学部卒。
IFA認定アロマセラピスト。
AEAJアロマセラピープロフェッショナル。
英国NLP学院認定プラクティショナー。
ABH認定ヒプノセラピスト。

わたしたちと一緒にアロマセラピーを学びませんか？



無料学校説明会開催中!!

札幌、仙台、福島、宇都宮、埼玉、立川、
武蔵小杉、横浜、名古屋、福井、西宮、奈良
岡山、鳥取、山口、北九州、福岡、熊本
鹿児島、佐賀、沖縄



ライブラ香りの学校

兵庫県西宮市戸田町6-1フォレスト西宮2F

TEL : 0120-41-8228

MAIL : school-o@libra-kobe.co.jp



お
わ
り



LIBRA SCHOOL OF AROMATHERAPY
<http://www.libra-kobe.co.jp>